

浅間山の雪も少なくなり、二十四節気の「清明」にあたる今日の良き日に佐久市立浅間中学校の第六十四回入学式を挙行できますこと、この上ない喜びであります。

二百五十九名の一年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。皆さんが浅間中学校へ入学してくることを心から楽しみにしていました。みなさんは、どのような思いで今日を迎えたでしょうか。大きな期待とともに、不安もあったかもしれません。そんなみなさんに三つお話しします。

一つ目。スタートするとき不安を感じることは当たり前のことです。また、学校生活を送っていく中で不安や心配なことも生じるでしょう。そんなときは、一人で抱え込まずに、すぐに相談してくださいね。担任の先生はもちろん、学年の先生、学校中の先生、スクールカウンセラー、だれでもいいので相談してください。友だちや先輩に相談するのもいいですね。相談することは恥ずかしいことじゃありません。大切な能力、チカラです。学校には相談窓口もあります。

二つ目。六十四年目を迎える浅間中学校には、学校教育目標「情操高く 知は深く」が伝統として受け継がれています。「情操高く」とは、豊かな感情、すてきな感情を高めていくことです。「ウザい」や「キモい」といった一言で終わり、ということとは全く逆のことです。「知は深く」については、浅間中学校では「学び」を大切にしています。教科の学習はもちろん、自分の好きなことに挑戦して、探究して、「知を深く」して行ってください。

三つ目。みなさんに紹介したいものがあります。これです。「カーブ定規」と言います。曲がっている「定規」です。何に使うんでしょうね。この曲がっていることに大切な意味があり、役割があるのです。「まっすぐが当たり前」じゃないんです。二百五十九名の皆さんも同じです。一人ひとりに大切な個性があり、役割があります。だから、ぜひ自分を大切にしていってください。同じように、周りの友だちも大切にしていってください。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。VUCA（ブーカ）時代と言われ、予測困難な問題も多く起こるでしょう。でも、六十名を超える我々教職員は、中学校の主人公である七百九十七名の生徒を真ん中にし、保護者の皆さんと連携して教育活動を推進していきます。どうぞよろしく願います。昨今、浅間中のみならず多くの学校で、SNS等でのトラブルが数多く発生しています。昨年度の生徒会 保健委員会でのアンケートでは、スマホやパソコン、ゲーム機などの使用に関して「家でのルールが特にない」という回答が、3～4割という状況です。使用時間や使用場所のルール作りを親子で行ってください。また、ペアレンタルコントロールもお子さんと話し合って、活用してください。学校でも年四回ほど学習会を行います。実際の使用に関しましては、保護者の責任の下、よろしく願います。ネットの問題は、心の問題でもあります。自分で自分をコントロールできるように、自分も友だちも大切にできるように、よろしく願います。

結びになりましたが、ご臨席いただきました佐久市長 柳田清二様をはじめ、ご来賓の皆さんに感謝を申し上げるとともに、今後も浅間中学校の素晴らしい生徒の皆さんに、温かなお力添えを賜りますこと、お願い申し上げます。

一年生の皆さんが、伝統ある浅間中学校でわくわく感をもって生活し、「情操高く 知は深く」成長することを願い、式辞といたします。

令和六年四月四日

佐久市立浅間中学校長 宮島卓朗